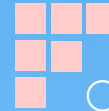


南関東防衛

平成26年
春号

平成26年春号 年4回発行 第3号



特集

- 日米交流
スポーツフェスタ
- 防衛問題セミナー
- 沖縄県道104号線
越え 実弾射撃訓練
の分散・実施
- 海賊対処行動

第22回 防衛問題セミナー

南関東防衛局が主催している防衛問題セミナーも第22回を迎えました。防衛問題セミナーは防衛政策や自衛隊の活動などについて幅広く国民の皆様にご理解をいただくため、平成19年度から管内（神奈川県、山梨県、静岡県）各地において開催されております。

今回は、3月4日、横須賀芸術劇場（ヨコスカ・ベイサイド・ホケット）において、講師に拓殖大学特任教授・前防衛大臣の森本敏氏、防衛省防衛政策課長の芹澤清氏を招き開催されました。

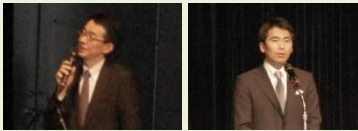
「新たな防衛計画の大綱」の策定にあたった芹澤氏、日本の安全保障のスペシャリストである森本氏お二人の話は大変に興味深く、多くの参加者の関心を惹いていました。



今回の防衛問題セミナーは、主催者である当局の丸井博局長からの開会挨拶、後援を頂いた横須賀市の吉田雄人市長の来賓挨拶で始まりまし

た。講演は、芹澤氏が「新たな防衛計画の大綱」と題し、昨年12月に策定された防衛計画の大綱のポイントについてスライドを用いて解説し、引き続き、森本氏による講演が行われ、我が国が喫緊に取り組まなければならない安全保障上の課題や、中国・北朝鮮・韓国情勢などを中心に分かりやすく説明されました。

会場には約480名が聴講に訪れ、各講師からの説明を熱心に聞き入っていました。聴講者からは、「大綱の考え方が良く理解できた」、「我が国の周辺事情の根本が良く分かる説明であった」などの感想が寄せられました。



(写真上) 森本前防衛大臣
(写真中右) 吉田市長
(写真中左) 芹澤課長
(写真下) 丸井局長



豆知識

Q セミナーのテーマである

「新たな防衛計画の大綱」

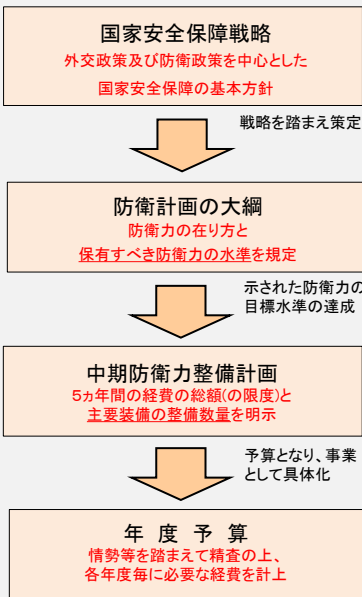
とは何ですか？

防衛装備品の取得や自衛隊の運用体制の確立等は一朝一夕にはできず、長い年月を要するため、中長期的見通しに立って行うことが必要です。

新たな防衛計画の大綱（防衛大綱）はこのような観点から、昨年12月に策定された国家安全保障戦略を踏まえ、今後の我が国の防衛の基本方針、防衛力の役割、自衛隊の具体的な体制の目標水準などを示すものとして同月閣議決定されました。

これは昭和51年、平成7年、平成16年、平成22年に定められた防衛大綱に次いで5番目となる防衛大綱で、概ね10年程度の期間を念頭においています。

防衛大綱に示された防衛力の目標水準などを踏まえ、5年間を対象とする中期防衛力整備計画が策定され、この計画に従って、それぞれ各年度の防衛力整備を実施することになります。



沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施―北富士―

沖縄の負担軽減

沖縄県に所在する米軍施設 キャンプ・ハンセンにおいて実施されていた155ミリ榴弾砲による沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練は、米軍施設・区域が集中する沖縄県の負担軽減を図り、また日米安保体制の信頼性の向上を図る上で米軍の練度維持及び即応態勢を保持するため、平成9年から本土の5カ所にて分散・実施されています。

南関東防衛局管内では北富士演習場と東富士演習場でこの訓練が行われており、当局は訓練の円滑な実施のためのサポートを行っています。

沖縄県、キャンプ・ハンセンで実施されていた米軍による沖縄県道104号線越え155ミリ榴弾砲による実弾射撃訓練は、県道104号線をまたぐ形で射撃が行われるため、県道を封鎖して実施されてきました。

平成8年8月、日米合同委員会において、沖縄県の負担の軽減を図るなどの観点から、この訓練を本土の5演習場で分散・実施することが合意され、翌年度の平成9年度から、本土5カ所の自衛隊演習場（矢臼別、王城寺原、東富士、北富士及び日出生台）で訓練が実施されています。

南関東防衛局では、管内に所在する北富士演習場及び東富士演習場における訓練時には現地対策本部を設置し、24時間体制で米軍への支援や関係自治体等への情報提供などを実施しています

厳冬期の射撃訓練

今年、1月から2月にかけて北富士演習場における第12回目の分散・移転訓練が実施されました。今回は初めての厳冬期の訓練ということでこれまで以上に緊張した訓練となりました。

通常キャンプ富士に集結した部隊は東富士演習場を通り北富士演習場に移動しますが、積雪のためこれが不可能とな

り、演習場外の一般道を通じて約100両の車両を移動させなければなりません。一般道にも積雪や凍結の影響があり、また一般車両への影響を最小限にする必要があることから、日米間で綿密な打ち合わせを行いました。

また米軍側も厳寒の気候に鑑み、射撃期間中に4日間の休止期間を設けるなど、訓練参加部隊の安全・健康面にも慎重な注意を払っていました。この結果、厳しい環境の中で行われた今回の実弾射撃訓練も往復2回の場外通行を含め無事終了しました。南関東防衛局は今後もベストを尽くして分散・移転訓練に関するサポートを実施します。



日米交流スポーツフェスタ



南関東防衛局では、米軍基地が所在する関係自治体及び周辺住民の方々と米軍人及びその家族との人的交流を通じて、相互理解を深めることが重要であるとの観点から、スポーツ、音楽、文化活動などによる日米交流事業を実施しています。

今回、第8回目となる日米交流事業は、2月23日、大和市引地川公園ゆりの森及び綾瀬スポーツ公園にて「日米交流スポーツフェスタ」として実施されました。当日は厳しい寒さにもかかわらず、元気いっぱいな日米の子供たちが参加しました。



2月23日、厚木飛行場に隣接する大和・綾瀬両市に跨がる公園及びスポーツ施設を会場として、平成25年度日米交流スポーツフェスタが開催されました。本イベントは当初昨年10月を予定していましたが、台風接近の影響により、延期を余儀なくされたものの、両市の職員や米海軍、野球・サッカー関係者の多大なご協力により無事この日の開催を迎えたものでした。

当日は、大和市、綾瀬市、米海軍の児童合わせて約100名が参加し、元プロ野球、元Jリーグの選手による教室に引き続き、日米混合チームによる親善試合が行われました。野球、サッカーそれぞれの会場は寒さに負けず児童のはつらつとしたプレーに、訪れた日米約200名の家族や関係者の方々も一緒になって雰囲気を楽しみました。

また、中央広場に設置された特設ステージでは、米海軍の児童（NAF A太鼓キッズ）による和太鼓演奏や、ダンスチーム（RDE チーム ラフィネス）による見事なダンスパフォーマンス、更には、在日米海軍の茶道教室の生徒により野点（のだて）席でお茶が振る舞われるなど、本イベントに華を添えてくれました。

試合後は、イベントに参加したすべての関係者が一同に会して昼食をとり、更に日米相互の親睦を深め、スポーツを通じて打ち解け合った日米の児童のあふれる笑顔で幕を閉じました。

今回の日米交流事業は、厚木基地周辺としては初めての試みでしたが、多くの関係者のご理解とご協力により成功裡に終わることができました。今後も皆さまから喜んでいただけるような日米交流事業の企画・実行に努めて行きます。

野点



(写真上)野点

(写真右上)ラフィネス (写真右下)太鼓キッズ (写真左)開会式



(前列左から)笠間綾瀬市長、丸井局長、米海軍厚木航空施設ウィーマン司令官 (後列)来賓の皆様

海賊対処行動

— 遠く離れた海で —

新聞報道

海賊対処行動の概要

日本から遠く離れたソマリア沖・アデン湾、ここで自衛隊が海賊対処のために活動を行っています。

ソマリア沖・アデン湾は、年間約2千隻の日本関係船舶が通航する重要な海上交通路ですが、海賊による事案が多発しています。

これは日本を含む国際社会にとつての課題です。このため、この海域において、日本人や日本の財産を守るために海上自衛隊の護衛艦や哨戒機が派遣されています。もちろん、厚木基地のP3C哨戒機や横須賀基地の護衛艦も活躍しています。

今年1月22日付けの読売新聞は、海上自衛隊の協力により海賊とみられる5人のソマリア人が拘束されたことを報じました。

統合幕僚監部が発表した資料によれば、1月18日、商船が海賊から攻撃を受けているとの情報を受け、護衛活動中の護衛艦「さみだれ」が搭載ヘリを発艦、この商船の安全を確認した後、不審な小型船を発見しました。引き続きアデン湾を警戒監視中のP3C哨戒機がこの小型船を監視し、日本からの情報をもとにフランス海軍艦艇が立入検査を実施しました。

この小型船は海賊に乗っ取られており、海賊5名の身柄を拘束するとともに、乗員を解放しました。



海賊に乗っ取られていた小型船



自衛隊は海賊対処法に基づき護衛艦2隻を派遣し、この海域を航行する船舶の護衛を実施するとともに、P3C固定翼哨戒機2機を派遣し、上空からの監視警戒を行っています。

護衛艦は、アデン湾を往復しながら民間船舶を護衛しています。護衛方法としては、まずアデン湾の東西に一か所ずつ定められた集合地点において、護衛の対象となる民間船舶の受け入れ作業を行い護

衛船団を作ります。アデン湾をこの船団が航行する際には、船団の前後を護衛艦が守り、護衛艦に搭載された哨戒ヘリコプターも、上空から船団の周囲を監視します。こうして昼夜を問わず船団の安全確保に万全を期しつつ、アデン湾約900キロ（季節により約1100キロ）を2日ほどかけて通過していきます。

これまで（2月末時点）の護衛船舶数は計3244隻で、護衛回数は501回を数えます。なお、昨年12月10日から護衛艦1隻は国際的な海賊対処部隊であるCTF-151のゾーンディフェンスに参加しています。

また、ジブチ共和国に活動拠点を置くP3C哨戒機も、日本の面積に匹敵するほど広大なアデン湾を、優れた航続力を発揮して警戒監視を行っています。



アデン湾上空を飛行するP3C哨戒機

岩国移駐に関する協議会

1月24日、「厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会（第3回）」が開催されました。当協議会は、「再編の実施のための日米ロードマップ」に記載された厚木飛行場から岩国飛行場への空母艦載機の移駐に関し、移駐の具体的なスケジュールや進捗状況等について情報交換等を行うため設置されたもので、南関東防衛局長（写真左）、神奈川県副知事及び厚木飛行場周辺9市の副市長により構成されております。



当日は、厚木飛行場から岩国飛行場への空母艦載機の移駐に係る進捗状況、恒常的訓練施設の進捗状況、厚木飛行場周辺住民、自治体の負担の軽減策について国側から説明を行い、その後、質疑応答が行われました。

南関東防衛局としては、厚木飛行場の空母艦載機による航空機騒音は、周辺住民の方々にとって大変深刻な問題であると認識しており、引き続き、周辺住民の方々の負担軽減が図られるよう努めるとともに、空母艦載機の移駐に関し、適切に情報提供を行っていきます。

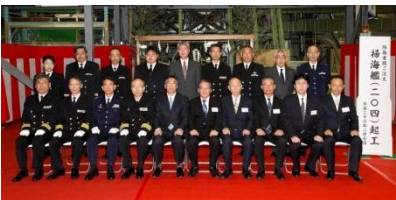
掃海艦「204号」起工式

2月7日、ジャパンマリニューナイツッド株式会社横浜事業所鶴見工場において、掃海艦204号の起工式が行われました。起工式では、初めて加工する船体材料を用意し、清め払い等が行われました。掃海艦や掃海艇の主任務は、機雷の除去であり、掃海艦は掃海艇よりも更に深い位置にある機雷を除去することが可能です。

本艦は、国内初のFRPサンドイッチ材を用いた掃海艦であり、新型の深々度対応機雷探知機など、国産の新規武器システムを装備する予定です。

深々度高知能化機雷への対処能力を強化した新型掃海艦の一番艦である掃海艦204号は、従来の「やえやま」型の後継艦として、将来の掃海業務の主力としての期待がもたれています。建造後の海上自衛隊への引渡しは、平成29年3月の予定です。

(写真上) 初釘打ち
(写真下) 写真集合



在日米海軍副司令官の着任



2月24日、在日米海軍副司令官（兼参謀長）マイク・コールマン大佐が着任挨拶のため、南関東防衛局に来訪し、丸井南関東防衛局長をはじめとする局内幹部と会談の場を持ちました（写真右）。

ケンタッキー州出身のコールマン大佐は、バージニア州立軍人養成大学を経て米海軍に入隊しました。その後、高速戦闘支援艦での勤務などを経て、海軍作戦本部で勤務した経験もあります。また、日本ではこれまでも横須賀基地の在日米海軍司令部や横田基地の在日米軍司令部でも勤務しています。

山梨・静岡、大雪で災害派遣



2月中旬に関東地方を襲った大雪のため、防衛省・自衛隊は山梨県・静岡県を含む一都六県で雪害に関する災害派遣活動を行いました。この災害派遣活動では、9日間にわたり延約5000人、車両延約1000両、航空機延約130機をもって人命救助73名、食料等の物資輸送44トン、道路の除雪距離約280キロの活動を実施しました。

当局管内の山梨県、静岡県でも大雪の被害は甚だしく、北富士駐屯地の第1特科隊や滝ヶ原駐屯地の富士教導団などが両県知事の要請を受け、人命救助や道路の除雪などを行いました。



(写真上) 安否確認のため民家に向かう隊員
(写真右) 除雪作業

第9次派遣海賊対処行動航空隊司令 向井強 1等海佐

(南関東防衛局防衛補佐官)



人物クローズアップ

向井 強(むかいつよし)

—昭和37年生まれ

—出身：愛媛県

—防衛大学校卒（29期）

—第3航空隊（厚木）
第7航空隊（鹿屋）
第2航空隊（八戸）
統合幕僚監部などで勤務

—平成24年7月より現職

今回は、ジブチ共和国を拠点に海賊対処行動航空隊に参加した経験を持つ南関東防衛局の防衛補佐官、向井強1佐に当時の経験談や自衛隊の活動のエピソードなどについて聞きました（平成26年2月26日）。

Q 簡単に自己紹介をお願いします。
A 出身は愛媛県で、防衛大学校29期です。卒業後は海上自衛隊に入隊し、厚木、鹿屋、八戸の航空隊で勤務しました。また、下関市小月の教育航空隊で教官をしたこともあります。南関東防衛局の前は厚木の第3航空隊で副長をしていました。
Q その厚木におられた時にジブチに派遣されたのですか。
A そうです。正式には第9次派遣海賊対処行動航空隊司令として平成24年2月から6月までジブチにて勤務しました。
Q 当時の勤務で大変だったこ

とは何でしょうか。
A 私は航空隊司令としてP3C哨戒機によるアデン湾の警戒監視任務に就いていました。アデン湾はイエメンとソマリアに挟まれた地中海からインド洋に抜ける細長い海域です。地図では小さく見えますが、日本の面積に相当する広大な面積があり、ここを航行する無数の船舶を一つ一つ上空から確認し、不審な船舶かどうか確認するのは大変な作業でした。
Q 海賊船と遭遇することも多かったのでしょうか。
A 私が赴任していた間、2隻の不審な小型船を発見しました。

この時は、有志連合海上部隊司令部に通報し、同司令部がその小型船に対処しました。



現地を訪れた杉本海幕長(当時)を案内

Q 当時の思い出について。
A ジブチは暑い国で、6月ともなると気温が50度を超えます。私は司令の立場ですので屋外でのレセプションなどにも参加することがありましたが、汗をぬぐったハンカチを絞って汗を拭いていたのが思い出の一つです。



南
関
東
防
衛
局

ちよつといい話

冒頭特集記事で紹介した沖縄県道104号線越え155ミリの榴弾砲実弾射撃訓練の北富士演習場における分散・実施は無事終了しました。
訓練に参加した米海兵隊部隊は北富士演習場で実弾射撃訓練を行った後、キャンプ富士にて沖縄に帰還する準備をしつつ、時間の合間をぬって地元で養護施設を訪問し、ボランティア活動を行いました。

2月2日、米海兵隊の有志24名が牧師さんに率いられて訪れたのは静岡県駿東郡にある聖心養護園（米軍には牧師さんもいるのです）。これまでも北富士演習場や東富士演習場で訓練を行う際に度々訪れた場所です。

この日は節分が近いということで外で豆まきを、と考えたのですが、あいにくの雨のため、室内で園児たちと楽しく粘土遊びを行いました。
でも、やっぱりそのままでは帰れないですね。最後は屈強な海兵隊員が鬼の仮面をかぶって鬼は外。参加した隊員も園児達も楽しい一時となりました。

南関東防衛局には去年、今年に成人を迎えた若手職員がいます。入省間もない彼らですが、今年1月23日に横須賀市に拠点をおくFMラジオ局ブルー湘南の「遊びに来ませんかスタジオオヘ」に出演しました。

この番組は毎月第3木曜日に丸井局長らがパーソナリティを務め、「防衛トーク」と題し様々なゲストから話を聞くものです。

今回出演したのは、調達部土木課の江口君と企画部住宅防音第2課の木全(きまた)君。南関東防衛局での仕事の様子や今後の抱負などについて聞きました。



丸井局長(中)とともに地元のラジオ番組に出演した新成人の江口雅也君(右)と1年先輩の木全悠助君(左)

Q 入省の動機を教えてください。

A (江口) 兄が海上自衛隊で働いていまして、防衛省関係に興味を持ち、防衛省を選びました。私は工業高校の土木科でしたので、公共工事にも興味がありました。

A (木全) 私の祖父が(陸上)自衛官だったので、幼少の頃からよく基地のイベントなどに連れて行ってもらいました。回数を重ねる度に段々と戦車やヘリなどの装備品に興味を持ち始め、中学3年生の頃には防衛省で勤務したいと思い始めました。

Q 実際に防衛省に入ってみていかがでしたか。

A (江口) 自衛隊というイメージが大きかったです。しかし就職してみると様々な分野の仕事があり、なかでも基地内の整備に携わる仕事ができ、大変嬉しく思っています。まだまだ分からない事ばかりですが、上司や先輩にいろいろ教えて頂いているので、楽しく仕事できています。



南関東防衛局

ルーキー紹介

A (木全) 現在、厚木飛行場周辺などの住宅に対し、飛行場の運用に伴う航空機による騒音の障害を防止、軽減するために防音工事の助成を行う仕事をしていますが、幼い頃からテレビなどで見ていた自衛隊員の活動というのとはまた違った、こういう裏方的な仕事もあるのだなというのが、驚きというか発見でした。

Q 将来の夢や抱負を教えてください。

A (江口) 親孝行をしたいと思えます。それから、いい人に恵まれ、家庭を持ちたいです。そのためにもたくさん勉強して一人の大人として他人から求められ、頼られる存在になりたいと思っています。

A (木全) いろいろな部署で、いろいろな仕事に携わってみたいです。私の上司が、ちょうど私の年齢の20年後ぐらいの年齢なのですが、私もその上司の様に、強く、頼られる人になれるといいなと思っています。

イベント情報

春は管内の在日米軍基地で基地開放が行われます。この機会に是非足を運んでみてください。

米陸軍キャンプ座間 日米親善桜まつり

■ 2014年4月5日(土) 11:00~18:00

- ✓ ストリート・パフォーマンス
- ✓ インターナショナルフードコーナー
- ✓ ゲーム広場
- ✓ ライブコンサート 他



■ 行き方:

小田急線「相武台前駅」下車徒歩10分
JR相模線「相武台下駅」下車徒歩15分

米海軍厚木航空施設 日米親善春祭り

■ 2014年5月3日(土)

- ✓ 米海軍・海自航空機の地上展示
- ✓ アメリカンフードなどの販売
- ✓ 飛行隊グッズ販売
- ✓ ライブコンサート 他



■ 行き方:

相模鉄道「さがみ野駅」下車徒歩20分

※チラシは昨年のもの